

# ファミリーハウス運動をご理解いただくために

私たちは北海道ファミリーハウスは、2000年11月に小児がんなどの重い病気の子供を持った親に宿泊施設情報を提供することを目的に札幌市に事務所を開設し、2007年4月NPO法人の認証を取得したボランティア団体です。

この運動は、多くの個人会員や企業・諸団体からの寄付などによって運営しています。

この資料は「ファミリーハウス運動」をご理解いただくためのものとしてご活用いただければ幸いです。



## 【ファミリーハウス運動とは】

ハウスのモデルは1974年ハンバーガーチェーンのマクドナルド社が造ったことに始まり、今ではその数は30カ国272カ所になりました。小児がんなどの難病の治療は、長期間の入院と高度医療（骨髄移植や手術・放射線治療など）を受ける必要があります。一方、患者の家族はビジネスホテルやアパートを確保するなど重い経済的・精神的負担を抱えることとなります。このような状況を改善する一方策としてファミリーハウスの運動が進められています。

## 【北海道ファミリーハウスの役割】

北海道ファミリーハウスでは、病院の施設だけでは応じきれない利用者のため、病院周辺で空室となっているオーナーさんとホテルのご協力を得て、ファミリーハウスとして活用させていただき、いまでは子供たちはもとより、一般の患者さん家族にも利用いただいております。この方式は「北海道方式」と呼ばれ全国的にも注目されています。



## 【日本国内における運動の現状は】

1991年国立がんセンター中央病院小児科に全国各地から入院していた子供の母親達が、アメリカの「マクドナルドハウス」の存在を知り、東京にも宿泊施設を…と訴え、運動が始まりました。

92年、血液のがんで亡くなられた息子さんの遺志を受け継がれたご両親が建てられた「かんがる～のおうち」やマンションの一室を提供して頂いた「パピーの家」が誕生しました。

現在では、全国に67団体があり、NPOやボランティアによって施設運営されています。



## 【滞在施設はボランティアに支えられています】

北海道ファミリーハウスに登録している滞在施設は、マンションやアパートを提供いただいているオーナーさんが18軒とホテル7軒で、ボランティアや企業の社会貢献に支えられています。

事務局もボランティアが交代で皆様からのお問い合わせに対応しています。

## 【北海道における運動の現状は】

道内においては、2003年4月に北海道電力（株）と北海道電力労働組合が50周年を記念して北大と札幌医大にそれぞれ10室程度のファミリーハウスを建設寄贈する共同事業を行いました。この他、民間の病院に併設するハウスが増えつつあり、ボランティアの枠を越え社会的な運動として高まっています。

## 【寄付などのご支援をいただきました】

ドナルド・マクドナルド財団・花王・味の素・北海道共同募金会・北海道骨髄バンク・ほくでんユニオン・電力総連・道新福祉振興基金・毎日新聞社・札幌信用金庫社会福祉基金・北海道労働金庫など、これまで多く団体、個人の方から頂戴しました。

(一部を掲載。敬称略・順不同)

入院患者と家族を支える・ボランティア団体

**NPO法人北海道ファミリーハウス**

〒060-0807 理事長 松本脩三 (北大名誉教授)

札幌市北区北7条西6丁目北苑マンション407

TEL : (011) 716-4161 FAX : (011) 716-4162

URL <http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/>

事務所：月曜日～木曜日 10:00～16:00

※記載内容は予告無く変更する場合があります